

**貿易 DX を推進するトレードワルツが、国連 CEFACT フォーラムに再登壇。
新たな貿易データ標準づくりに向けた議論開始。**

株式会社トレードワルツ

貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」を運営する株式会社トレードワルツ(以下:トレードワルツ)は、2023年10月2-5日にかけて、タイ・バンコクにある国連アジア事務所で開催された第41回国連 CEFACT forum へ登壇し、前回の提案から一歩踏み込み、新たな貿易データ標準に関する議論を始めましたので、ご報告いたします。



■ 国家間をつなぐ貿易のデータ標準 変遷

国家間の物資をつなぐ貿易は、古くから多くの国・人の参入によって取引条件の解釈の幅が出てきたことにより、1960年から国連内に貿易手続き簡易化作業部会（略称 UN/CEFACT）が設けられ、貿易国際ルールの議論、決定機関となってきました。1980年代以降は情報システムの進展と共に EDI ベースの国連 EDI 標準（略称：UN/EDIFACT）を制定、ISO9735として国際規格化され、現行貿易システムの多くで参考にされています。昨今では、貿易における商流→物流→金流のデータ活用概念や、技術としての API などを加味し、書類から構造化データへ標準を変えていこう（Document to Data）という動きが活発化しています。

■ 前回の国連 CEFACT フォーラムでのトレードワルツ および 日本代表団の提案

こうした流れを受けトレードワルツは、昨年の国際プラットフォーム間実証、及び経済産業省「貿易連携データWG」での実務者データ項目調査の結果を踏まえ、国連 CEFACT の貿易データ標準策定に向けた提案を、2023年5月11日に、スイス・ジュネーブの国連欧州本部で開催された第40回国連 CEFACT フォーラム

で行いました。

前回プレスリリース： <https://www.tradewaltz.com/news/5536/>

トレードワルツ発表資料 URL： https://unece.org/sites/default/files/2023-05/UN%20CEFACT%20forum-TradeWaltz_230510.pdf

■ 今回の国連 CEFACT フォーラムでの提案・得られた結果

JASTPRO 社を中心とした日本代表团（トレードワルツ含む）は今回、国連 CEFACT の各ドメインで下記活動を行い、いくつかの結果を得られたため、ご報告致します。

参加部会	活動内容	得られた結果
業界横断部会（Cross domain mini session）	昨年の経産省 WG 調査で見えた、現行 UN/CEFACT に足りない実務データ項目について日本から追加提案。	具体的な項目を UN/CEFACT Hanane 副議長にシェアし、技術的な項目精査が始まった。
金流部会（Finance & Payment/F+P domain）	これまで UN/CEFACT 上、明確に規定されていなかった LC の BRS（要件定義書）を、商流・物流情報との連携を踏まえて提案。	LC-BRS の議論グループができて、議論が始まった。

<Cross domain Mini session について>

UN/CEFACT 議長の Sue、副議長の Hanane、ICC DSI 常務の Pamela、シンガポール政府から TradeTrust を提案する Sin Yong、コンテナ船社を束ね DCSA の Dominique といった豪華メンバーにトレードワルツが加わり、貿易手続きの手法を書類からデータへ変え、商流・物流・金流のデータを一通貫で活用できるように何ができるかを討議しました。（冒頭の写真はこのパネルの様子）

DAY 3 WEDNESDAY, 4 OCTOBER 2023		
"eTrade Journey: Revolutionising Global Commerce through Digital Transport Documents"		
MODERATED BY DR. HANANE BECHA		
Time		Room (capacity)
09:30 – 09:45	Opening by Hanane BECHA	MRA (100)
09:45 – 10:05	Pamela Mar - ICC	
10:05 – 10:25	Sin Yong, Loh, UN/CEFACT Singapore Head of Delegation and TradeTrust Director	
10:25 – 10:45	Luca Castellani	
10:45 – 11:00	Coffee Break	MRA (100)
11:00 – 11:20	Satoru Someya Executive Officer, COO, CMO Head of Global & Alliance business dept and Marketing & Sales dept, TradeWaltz Inc Trade Facilitation platforms challenges in Asia Pacific Region	
11:20 – 11:40	Dominique Willems, Head of Public affairs, DCSA	
11:40 – 12:00	Sue Probert, UN/CEFACT Chair UN/CEFACT Buy/Ship/Pay Data Exchange structures for Trade Finance Facilitation	
12:00 – 12:30	Q&A and closing by Hanane Becha	

<Mini Session 登壇者集合写真と forum 全体集合写真>



[関係者のコメント]

一般財団法人 日本貿易関係手続簡易化協会(JASTPRO) 理事 菅又 久直

「経済産業省の先導による貿易デジタル化推進事業が進められています。その一環として本年 5 月に引き続き、10 月に開催された国連 CEFACT フォーラムにおいて、今後の貿易デジタル化におけるデータパイプライン実現のための、商流・物流・金流に渡るシームレスなデータ連携を可能にする参照データモデルに関わる提案活動を行ってきました。今回は株式会社トレードワルツ 染谷氏によるアジア太平洋地域における貿易プラットフォーム促進への取組の紹介、及び JASTPRO 菅又による貿易金融プロセスの業務要件仕様提案を行い、国連 CEFACT が進める貿易金融円滑化プロジェクトを大きく前進させる貢献ができました。」

株式会社トレードワルツ 執行役員 COO、CMO 染谷 悟

「前回国連 CEFACT フォーラムで提案した際は、日本・アジア発で本当に貿易データ標準が変わっていくのだろうか？と不安がありましたが、今回、日本代表団で一步踏み込んだ提案をする中で、国連 CEFACT 各国メンバーも受け入れて頂き、標準が変わっていくことを実感し、自信が湧きました。サッカーも欧州一部リーグのプレーヤーが出てきたことで、欧州一部リーグを目指すのが選手の当たり前になりました。日本発プラットフォームも、世界のルールや標準の変更を視野に入れてプレーできるよう橋頭堡を作っていければと思います。」

■トレードワルツについて

商号 : 株式会社トレードワルツ

代表者 : 代表取締役社長 小島 裕久

所在地 : 〒100-6036 東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 5 号霞が関ビルディング 36 階 WORKSTYLING

設立 : 2020 年 (令和 2 年) 4 月

事業内容: ブロックチェーンを活用した貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz (注 1)」の SaaS (注 2) 提供
人員数 : フルタイム 63 名

URL : <https://www.tradewaltz.com>

株主一覧: 株式会社 NTT データ / 豊田通商株式会社 / 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 / 住友商事株式会社 / 三菱商事株式会社 / 株式会社 TW Link / 東京海上日動火災保険株式会社 / 豊島株式会社 / 株式会社上組 /

株式会社フジトランス コーポレーション / 三井倉庫ホールディングス株式会社 /
株式会社日新 / 株式会社三菱 UFJ 銀行 / 丸紅株式会社 / 三菱倉庫株式会社/
損害保険ジャパン株式会社

SDGs への取組み：弊社サービスは主に 8,9,12,13,15,17 のテーマについての取組みを推進しています。



(注 1) 「TradeWaltz」は日本国内における株式会社トレードワルツの登録商標です。

その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

(注 2) Software as a Service の略で、ユーザーがインターネット経由で必要なソフトウェア機能を利用する仕組み

本件に関するお問い合わせ先

株式会社トレードワルツ 広報・マーケティング部 担当：染谷、齋藤、須藤、中尾

Email : info@tradewaltz.com

以上